

令和 8 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団予算書  
(抜粋)

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

# 目 次

	ページ
事業計画書 .....	3
収支予算書 .....	19

# 事業計画書

# 令和 8 年 度 事 業 計 画

令和8年度は、国際情勢の激変や物価等の上昇により、社会状況が大きく変化することが想定されるなか、公益法人としての責任と使命を踏まえ、適切な組織運営を図りながら市政の発展に寄与してまいります。

文化財部門は、市内における開発事業の減少に伴い、大規模な発掘調査は1件となります。また、整理等作業が終了した3事業の調査報告書の刊行にも取り組みます。

施設部門は、5施設が指定管理期間の中間地点を、1施設が最終年度を迎えることとなります。これまでの事業実績に対する評価・検証を適切に行いながら、市民に歓迎される適正で公平な施設運営に努めます。

## 基本理念

当財団は、埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、教育水準の向上及び文化の発展に寄与するために、人の営みや地域に根ざした歴史・文化を正しく継承、発信し、新たなまちづくりに活かしていくことを目指します。

今後とも、公益法人としての社会的責任を強く自覚し、行政や地域団体等との「連携・協働」の強化を図りながら、社会のニーズを捉えた事業運営を誠実に実行します。

## 基本方針

### ① 「教育・文化の振興とひとづくりへの貢献」

- ・ 職員の専門性と創意工夫を活かし、社会のニーズを的確に捉えた事業を展開することで、学習の機会を提供し、教育文化の振興に寄与します。
- ・ 蓄積してきた地域の歴史等に関する調査研究の成果を還元することで、郷土愛の醸成を図り、ひとづくりや地域づくりに貢献します。

### ② 「文化財保護の推進」

- ・ 埋蔵文化財の発掘調査を担う団体として、いわき市教育委員会と緊密な連携のもとに調査に邁進し、その成果を最大に引き出します。
- ・ いわき市考古資料館などと連携して、いわき地域の歴史や文化に関する調査研究を深化させ、埋蔵文化財の価値や魅力を市民に発信します。

### ③ 「愛され、親しまれる施設の確立」

- ・ 各施設が持つ地理的、歴史的、機能的な特色を活かすため、職員の発想と創意工夫を取り入れ、各種団体等との交流、協働を図り、多様化する市民ニーズを捉えた事業を推進し、にぎわいを創出します。
- ・ 社会教育施設間の有機的な連携を図り、当財団の専門性を活かすことで、地域の多彩な歴史、文化的魅力を発信し、生涯学習や社会教育の理念の達成をサポートします。

### ④ 「時代の変化に対応できる人材の育成」

- ・ 各施設の設置趣旨に沿った事業活動を推進するため、学芸員等の有資格者を適切に配置するとともに、各種研修を充実させることで人材の育成強化を図ります。
- ・ 変動する社会環境のなか、新たなニーズをつかみ、各種事業を展開していくため、職員一人一人がプロフェッショナルとしての自覚を持って行動し、学ぶことができる組織を目指します。

## 1 文化財部門(公1 埋蔵文化財の発掘調査事業)

本事業は、文化財保護法に基づき埋蔵文化財の発掘調査を行い、出土品の整理等作業及び発掘調査報告書を刊行します。調査・研究成果については、いわき市考古資料館と連携した普及事業に活用します。

発掘調査等においては、安全な作業環境の確保と事故の防止に務めるとともに、事業の円滑な実施に努めます。

また、発掘調査や整理作業等において飛躍的に技術が進歩・普及してきたデジタル技術についても積極的に導入し、作業の迅速化に努めます。

啓蒙普及事業では、いわき市考古資料館と連携した「令和7年度発掘速報展」を担当します。また、出前講座等への職員派遣も積極的に推進します。

### (1) 発掘調査事業

いわき市内7件、市外1件、計8件の事業受託を予定しています。委託者は、いわき市やいわき市教育委員会のほか、富岡町教育委員会、国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所となります。

#### ア 試掘・確認調査

開発に伴う事前調査で、埋蔵文化財包蔵地内の個人住宅建築や民間開発・公共事業等を要因として実施します。14件ほどの調査を想定しています。

#### イ 発掘調査

令和5年から継続実施している一般国道6号バイパス関連事業で、北作B遺跡を調査します。

市外の調査では、双葉郡富岡町の小浜代遺跡の範囲確認調査を実施します。

#### ウ 整理等作業

令和6年度に調査した一般国道6号バイパス関連事業の古身遺跡の整理等作業を実施します。また、いわき市文化振興課と連携し、市内の各種文化財に関する現況調査を実施します。

#### エ 報告書作成・刊行

これまでに確認調査を実施してきた梅ノ作瓦窯跡群、治山事業に伴う餓鬼堂横穴群、出土品整理の湯長谷館跡及び整理等作業を実施した古身遺跡の計4冊の調査報告書を刊行する予定です。

### (2) 啓蒙普及事業

#### ア 遺跡报告会・展示解説会

いわき市考古資料館の企画展「令和7年度発掘速報展」において、対象遺跡の遺跡报告会及び展示解説会を担当します。さらに、資料として『いわき発掘ニュース』を作成します。

#### イ 出前講座

小学校や公民館等から依頼される考古学や歴史に関する出前事業を実施します。

## 令和8年度事業一覧

### ア 発掘調査（試掘・確認調査含む）

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
1	市内遺跡発掘調査 (市内試掘)	いわき市教育委員会 (文化振興課)	市内一円	分布調査 試掘・確認調査 整理等作業 報告書作成作業
2	一般国道6号勿来バイパス関連 事業	磐城国道事務所	北作B遺跡 (勿来町関田北作他)	発掘調査
3	富岡町小浜代遺跡範囲確認調	富岡町教育委員会	小浜代遺跡 (双葉郡富岡町小浜)	発掘調査

### イ 整理等作業、報告書作成・刊行作業

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
4	梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査	いわき市教育委員会 (文化振興課)	梅ノ作瓦窯跡群 (小川町下小川字梅ノ作)	報告書作成・刊行 作業
5	埋蔵文化財発掘出土品等整理事業	いわき市教育委員会 (文化振興課)	湯長谷館跡 (常磐下湯長谷町)	報告書作成・刊行 作業
6	県営治山事業餓鬼堂地区	いわき市(林務課)	餓鬼堂横穴群 (平薄磯字北ノ作)	報告書作成・刊行 作業
7	一般国道6号バイパス関連事業	磐城国道事務所	古身遺跡 (勿来町関田古身)	整理等作業 報告書作成・刊行 作業
8	指定文化財等悉皆調査	いわき市教育委員会	市内一円	現況調査等

※ No.は、次頁「令和8年度事業実施遺跡位置図」に対応している。

令和8年度事業実施遺跡位置図

ア 発掘調査業務

② 北作B遺跡 (勿来町関田)

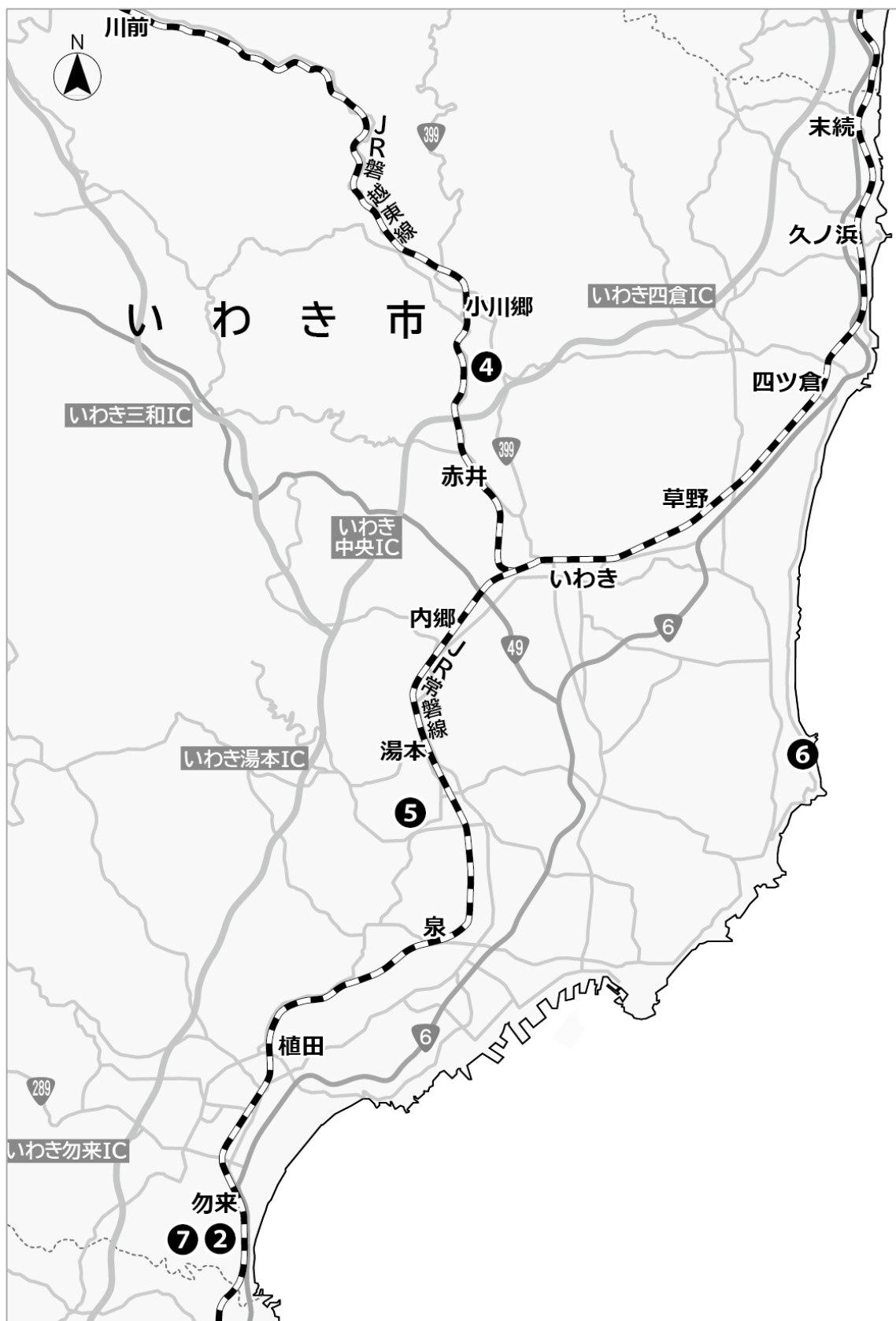
イ 整理等作業、報告書作成・刊行業務

④ 梅ノ作瓦窯跡群 (小川町下小川)

⑤ 湯長谷館跡 (常磐下湯長谷町)

⑥ 餓鬼堂横穴群 (平薄磯)

⑦ 古身遺跡 (勿来町関田)



## 2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

各施設は、前年度までの振り返りと評価を的確に行い、新たな事業計画の作成に活かしていきます。公共施設の設置意義を考え、施設の目的や機能に基づいた管理運営に努め、利用者への公平かつ平等なサービス提供を図ります。

また、利用者の意見を適切に把握しながら、質の高い事業を展開することにより、市民へのサービス向上を図ります。

さらに、施設利用者の安全確保を最優先に、施設設備の維持管理に当たっては細心の注意を払うとともに、所管する市や県と連携し快適で利便性の高い施設環境を維持します。

### (1) いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

#### 【いわき市立草野心平記念文学館】

##### ア 常設展示事業

- (ア) 寄贈資料の整理を進め、草野心平に関する資料の収集や調査研究を行います。
- (イ) 常設展示室では、草野心平の生涯と人間性を物語るエピソードや、作品に見る心平の世界を紹介し、公式ホームページやSNS、いわきデジタルミュージアムを活用して広報します。
- (ウ) 展示内容について、展示図録やパンフレットを提供し、理解をより深めます。
- (エ) 学校や団体、利用者からの要請により展示内容を解説し、草野心平の生涯や作品についてわかりやすく紹介します。

##### イ 企画展事業

本年度は、令和7年度から引き続き開催する「草野心平と川内村」のほか、以下の3企画展を開催します。

- (ア) 「本濃研太ダンボール彫刻展」では、彫刻家本濃研太が尊敬と憧れを持ってダンボールで制作した、個性豊かで独創的な動物たちを紹介します。
- (イ) 「おいしい！ぼくのイラストレシピ展」では、いわき市出身のイラストレーターぼくが制作したイラストレシピを紹介し、心平考案の料理のイラストレシピも展示します。
- (ウ) 「小川町の歴史と文化ー心平のふるさとー」では、草野心平のふるさとである小川地区にまつわる歴史と文化を紹介します。

##### ウ その他事業

- (ア) スポット展示「猪狩満直」「草野心平といわき市」「吉野せい」「河林満」「草野天平」を開催します。
- (イ) 小さな企画展「モリアオガエル展」「心平が愛でた夏の花」「心平が愛でた秋の花」「心平が愛でた冬の花」「心平の五節句」「心平が愛でた春の花」を開催します。
- (ウ) 文学への関心を高める「文芸講演会」「文学散歩」のほか、「ガリ版ワークショップ」などの体験学習、7・8月の開館時間延長の際には演奏会や朗読会などの「サマーナイトの催し」を開催します。
- (エ) 施設の運営記録誌として「年報」を発行します。

#### 【いわき市草野心平生家】

##### ア 催し物

- (ア) 生家に暮らした頃の草野心平と同年代の小川地区の児童が制作したカエルの工作品を展示する「心平誕生月の展示」を開催します。
- (イ) 草野心平の作品へ関心を深める「カエルのクラフトワークショップ」を開催します。
- (ウ) 草野心平が愛した郷土芸能であるじゃんがら念仏踊りを実演する「子どもじゃんがら」を開催します。

(エ) 草野心平を偲ぶ「心平忌」、草野天平を偲ぶ「草野天平の集い」を開催します。

イ 研修

利用者へ適切で丁寧な対応ができるよう、草野心平生家ボランティアの会会員を対象とした研修を実施します。

ウ 総会・例会への出席

毎年開催される草野心平生家ボランティアの会総会と毎月開催される例会に職員が出席し、情報交換を図ります。

## (2) いわき市暮らしの伝承郷

ア 常設展示事業

常設展示室内では、実物展示・模型・映像などの展示手法を活用し、いわきの民家・福島県の民家・日本の民家、いわきの年中行事・祭り・民俗芸能、子どもたちの暮らしの移り変わり、村境の景観等を紹介しています。展示資料の説明補充や一部展示替え及び追加展示について随時、調査・検討・実施します。ロビー等では、季節に因んだ資料や新しく寄贈を受けた資料を展示します。また、学校や団体、利用者からの要請により展示内容をわかりやすく解説します。

イ 企画展示事業

地域の暮らしをテーマとした内容を中心に取り上げることで、市民の知的好奇心を満たし、郷土愛を育む機会を提供します。

(ア) 第1回企画展「いわきの民俗芸能」は、いわき市内各地に残る郷土色豊かな民俗芸能の分布や歴史を紹介し、民俗芸能の今後の伝承について考えます。

(イ) 第2回企画展「藁と暮らし」は、日常生活や年中行事などで製作されてきた藁細工を紹介し、それらが使用された当時の暮らしを生活と信仰の両面から読み解きます。

ウ 古民家維持管理事業

日常行う雨戸開閉や掃除での古民家の状況把握以外に、定期的な目視による点検を行い、不具合を速やかに発見し、永続的な保存につなげていけるように管理します。また、園内の下草刈り、落葉掃き、古民家での火焚き、民具の手入れなどは、ボランティアと協働で実施し、景観の整備を行います。

エ 調査研究事業

市内の祭礼・民俗芸能・年中行事など、民俗の記録・聞き取りや収蔵資料についての調査研究を行います。

オ 講演会等事業

(ア) 身近にある民俗をテーマとした「伝承郷講座」を4回開催します。

(イ) 身近にある歴史を読み解くきっかけ作りとなる「古文書講座」を4回開催します。

(ウ) 学校や公民館等の依頼に応じて出前講座を行います。

カ 資料整理等事業

民具の調査・寄贈受け入れ、資料の登録及び収蔵、デジタルミュージアムのデータベース更新、収蔵庫施設の定期的な清掃・管理を行います。

キ その他の事業

(ア) 体験学習事業

伝統的な技能や芸能等を体験・伝承することを念頭に、「けん玉道場」「民話の語り」「藁馬作り」「竹かご作り」「正月飾り作り（玄関用・神棚用）」「布ぞうり作り」「伝承郷寄席」など、市民のニーズに応える体験学習を21回開催します。

(イ) 年中行事事業

いわき地方の伝統的な年中行事を、一部は旧暦に基づいて季節感とともに再現します。

また、来園者も参加できる行事も実施し、地域の伝承や風習にふれるとともに季節の節目を体感できる機会とします。

(ウ) ボランティア育成事業

月に1度、ボランティア向けの学習会を開催し、来園者、団体にガイド対応します。また、年中行事事業等への協力を依頼します。

青少年ボランティアにも事業への参加を依頼します。

(3) いわき市勿来関文学歴史館

ア 常設展示事業

(ア) 常設展示では、歌枕としての勿来関の紹介や、勿来関が詠みこまれた和歌等について展示・紹介します。あわせて、常設展示室の一角を利用し、勿来関や勿来地区に関わる歴史・文学などを紹介するミニ展示を実施します。

(イ) 学校や団体、利用者からの要請により展示内容を解説し、勿来関や和歌、勿来地区の歴史についてわかりやすく紹介します。

イ 企画展示事業

本年度は、「清光堂書店物語」「奥州三古関」「むかしのなこそ写真展」の3企画展を開催します。

(ア) 第1回企画展「清光堂書店物語」は、明治から昭和初期にかけて現在のいわき市平にあった清光堂書店について、同書店発行の書籍や経営者であった関内家が所有する資料によって、その歩みを紹介します。

(イ) 第2回企画展「奥州三古関」は、いわき市市制施行60周年記念事業と連携を図りながら、山形県鶴岡市に所在する「鼠ヶ関」、福島県白河市に所在する「白河関」、いわき市勿来町に所在する「勿来関」について、その歴史と伝承双方の視点から紹介します。

(ウ) 第3回企画展「むかしのなこそ写真展」は、市民から募った勿来関をはじめとする勿来地区の古写真とともに、近現代の勿来地区について紹介します。

(エ) 講演会は、企画展毎に展示内容をより深く理解できる題材を選定して開催します。

(オ) ギャラリートークは、学芸員が展示内容について解説します。

ウ 体験学習事業

(ア) 吹風殿寄席は、いわき市在住の落語家による寄席を開催します。

(イ) いわきあるき2026は、勿来関にまつわる文学・歴史と勿来の関公園の自然を紹介します。

(ウ) クラフト教室は、夏休みや冬休みに親子で楽しめる内容をはじめ、新たな内容も加えながら開催します。

エ 調査研究事業

勿来関や勿来地区に関する資料を収集するとともに、収蔵資料の整理を進め、勿来関に関する調査・研究を進めます。

オ その他の事業

(ア) 自主事業として、オリジナルグッズ・商品委託販売を行います。

(イ) 学校団体や公民館等の依頼による勿来関にまつわる文学・歴史などを解説する出前講座を実施します。

(ウ) 市や他博物館等による資料閲覧・貸出に対応します。

カ 吹風殿維持管理業務

隣接する勿来の関公園体験学習施設吹風殿の開錠施錠等業務をあわせて実施します。

#### (4) いわき市アンモナイトセンター

##### ア 常設展示事業

(ア) 常設展示では、約8,900万年前の大型アンモナイト化石密集層を発掘当時の状態で展示します。あわせて、体験発掘露頭から産出した化石についても通路沿いに展示します。

(イ) 学校等の団体からの要請により展示内容を解説し、化石密集層の地質学的意義についてわかりやすく紹介します。

##### イ 企画展示事業

夏季及び冬季の小・中学校の長期休暇期間を中心に、古生物や地質に焦点を当てた企画展を開催し、古生物学や地質学の魅力を伝えるとともに、子どもから大人まで幅広い層が楽しめる展示を行います。

(ア) 夏の企画展は、「いわきの新生代」をテーマにし、かつて石炭を採掘していた石城層の化石を展示・紹介します。

(イ) 冬の企画展は、「アンモナイトセンター今年の化石」をテーマにし、上部白亜系双葉層群足沢層から体験発掘において産出した様々な分類群の化石を展示・紹介します。

##### ウ 体験学習事業

(ア) 一般体験発掘は、個人や家族を対象として毎週土・日曜日に実施します。

(イ) 特別体験発掘は、学校等の団体を対象とし、原則的に一般体験発掘を実施しない開館日に実施します。

(ウ) 親子自然探訪教室は、祝日を中心に7回実施します。親子を対象とし、古生物学以外にも自然科学分野全般という広範なテーマでの体験学習カリキュラムの提供を通し、理科への興味と知識を育みます。

(エ) 地質学・古生物学に特化した博物館であるという特色を活かし、要請に応じて学校や各種イベントでの、講演やミニ体験発掘などの学習プログラムによる出前講座に対応します。

##### エ 講演会事業

久之浜中学校を会場として12月に実施します。双葉層群や中生代に関連したテーマで専門の講師を招聘し、常磐地域に関する地球科学的話題（化石を含む）について講演していただくことで、地域の小・中学生に地質学・古生物学を研究する魅力を伝えます。

##### オ 調査研究事業

双葉層群やそのほかの地層について、大学や他の自然史系博物館・団体と協力し地質学的・古生物学的研究を進めます。

##### カ 保存事業

(ア) 体験発掘露頭から産出する化石について、適切な保管と整理を進めます。

(イ) 市や市民からの資料の照会、市の許可を得た他機関への貸出に対応し、地質学・古生物学の普及に努めます。

#### (5) いわき市考古資料館

##### ア 常設展示事業

(ア) 常設展示室において、広く市民にいわきの3万年の歴史を紹介します。また、ミニ展示やイベントを開催して、利用者の促進を図ります。

(イ) 学校団体や希望する来館者には常設展示の解説を行い、展示の理解向上に努めます。

##### イ 企画展示事業

本年度は、恒例となった「発掘速報展」、年間主題の弥生時代を取り上げた「いにしえをめぐる いわきの弥生時代」の企画展を開催します。

- (ア) 第1回企画展「令和7年度 発掘速報展」は、令和7年度に実施した発掘調査や報告書刊行遺跡に関する成果をいち早く紹介します。
- (イ) 第2回企画展「いにしえをめぐる いわきの弥生時代Ⅰ」は、市内の弥生土器に焦点を当てた企画展を開催します。市内遺跡の竪穴建物跡や墓跡などから出土する弥生土器は、様々な模様や形を有しています。当時のいわき地方に生きた弥生人の造形に込めた思いを紹介します。
- (ウ) 第3回企画展「いにしえをめぐる いわきの弥生時代Ⅱ」は、市内の弥生遺跡に焦点を当てた企画展を開催します。石器や木器などの道具類を通して、当時のいわき地方に生きた弥生人の生活の様子を紹介します。

#### ウ 講演会事業

- (ア) 企画展関連事業として、外部講師を招聘した講演会を2回開催します。さらに、いわき市生涯学習プラザと連携した「いわきの考古学講座」を開催します。
- (イ) 夏休み中には小学生の自由研究に対応した講座を開催します。

#### エ 体験学習事業

- (ア) 体験学習会は、毎月土、日曜日や祝日を中心に、まが玉、土器・土偶・はにわづくりを実施します。また、11月には「考古資料館まつり」として、より多彩な体験内容を提供します。
- (イ) 学校団体や公民館等の依頼による館外での体験学習や出前講座にも対応します。

#### オ ボランティア養成事業

いわき市内の考古学にちなんだ知識の習得を目指した「考古資料館講座」を実施し、ボランティア養成に努めます。

#### カ 調査研究事業

これまでに発掘された遺物や遺構などについて、年間主題にあわせた資料集成をはじめとする調査を実施します。

#### キ 保存事業

- (ア) 収蔵施設の適切な運用を図るため、出土品の適切な保管と整理を進めます。
- (イ) 市や市民からの資料の問い合わせに対応することで、考古学についての知識の普及に努めます。また、他機関への貸出に対応します。

### (6) 福島県いわき海浜自然の家

#### ア 利用者受入

- (ア) 学校教育団体や社会教育団体等の利用者に、青少年の健全な心身育成を図ることを目的に、多様で魅力ある体験活動の場を提供します。利用者の安全を最優先とし、安全衛生の管理と施設環境づくりを徹底します。
- (イ) 学校教育活動での利用促進を基軸に据えつつ、幅広い利用者区分を念頭に置いた利用促進、閑散期対策、魅力的なプログラムの提供に努めます。
- (ウ) サービス向上として、学校教育団体の利用が多い6～10月は、臨時開所日を設け利用者の利便性の向上に努めます。また、利用者の満足度向上に向け、アンケート調査などの実施により、利用者ニーズの把握に努めます。

#### イ 主催事業

いわき地方の風土を生かした自然体験活動や教育効果を期待する事業、海浜自然の家の役割や意義の理解を踏まえた地域連携事業など、7つの目的を柱とした事業を展開します。

##### (ア) 立地条件を生かした自然に親しむ事業

- a 「遊ぼう！初夏の海で」は、家族（親子）を対象に、初夏の海で磯場に生息する水生生物の観察と釣りをを行い、身近な海の豊かさを実感してもらいます。

- b 「里山さんぽ」は、子どもから大人までを対象に、自然観察ガイド付きの所内里山ハイキングを実施し、健康増進といわきの山や植物に関する興味関心を深めます。
  - c 「波乗り体験」は、ボディボードを楽しみながら身体を動かす機会を提供し、体力・運動能力の向上、心身のリフレッシュ及び健康増進を促します。
  - d 「スポーツフェスティバル」は、子どもには体力向上、大人には健康維持促進を目的とし、様々なスポーツを楽しみながら、健康的な生活への意識向上を図ります。
- (イ) 地域の課題に対応した事業
- 「冬を楽しもう！」は、冬の自然体験活動の楽しさを体感してもらいます。
- (ウ) 現代的な課題に対応する事業
- a 「親子のつどい」は、親子（家族）を対象に、冬の自然体験活動をとおして、家族の絆を深めます。
  - b 「わくわく自然体験」は、福島県内の不登校傾向等にある児童生徒を対象に、自然体験活動や交流体験の機会を提供します。
- (エ) 指導者の資質を高める事業
- a 「学校教育団体指導者事前研修会」は、学校教育団体の指導者を対象に、年4回開催します。施設見学と活動計画の立案、同時期利用団体との活動時間や活動内容のプログラム調整を行います。
  - b 「活動プログラム研修会」は、社会教育団体の指導者を対象に実施します。施設見学や実技研修をとおして、自主的かつ主体的な活動の進め方や研修計画の立て方の理解を深めることを目的として開催します。
  - c 「ボランティア養成講座」は、海浜自然の家で活動するボランティア希望者に、毎年4回開催します。利用者を支援するうえで必要な知識と技能、役割等を学ぶことを目的とし、養成講座修了後は、各種事業等の参加者を直接支援していただきます。
- (オ) 教育効果を検証する事業
- a 「ふれあいサマーキャンプ」、「ふれあいオータムキャンプ」は、小学生を対象とし、自然体験活動をとおして自然や人とふれあう喜びを体得することを目的として開催します。サマーキャンプは海浜活動、オータムキャンプは野外活動を中心に実施します。事業終了後に保護者へアンケートを依頼し、キャンプ参加前と参加後の子どもの変化を検証します。
  - b 「リーダーズキャンプ」は、中学生を対象に自然体験活動をとおして人との交流を深め、リーダーシップ能力の向上と協調性や自主性を養うことを目的とします。
- (カ) 地域住民や県民に対して自然の家の役割や意義を紹介する事業
- a 「オープンデー」は、施設を県民に広く開放し、地域の多様な団体等と連携しながら、海浜自然の家の特徴を生かしたプログラムを春・秋・冬の年3回提供します。あわせて、地域住民や県民に自然の家の施設としての役割や意義を紹介します。
  - b 「クラフトのつどい」は、海浜自然の家の敷地内や活動エリア内で採取できる自然素材を活用して、創作活動を楽しんでもらいます。
  - c 「森の音楽会」は、森に囲まれた豊かな自然環境のなかで、いわきにゆかりのある音楽家の演奏を楽しんでもらいます。
  - d 「ミニ開放デー（自然の家であそんじゃお!）」は、施設を開放して遊びの場を提供し、利用促進を図ります。
  - e 「開所30周年記念行事」は、開所30周年を迎えるに当たり、県民の皆さまに感謝の気持ちを込め、改めて当所の役割と意義を伝えるため、既存の自主事業を拡大して実施します。

(キ) その他設置目的及び基本方針を具現化する事業

a 社会体験研修・インターンシップ

近隣の中・高校生や大学生、社会人の研修を受け入れ、海浜自然の家の業務内容や施設の紹介、利用者への支援の仕方や自然の家の役割について学びます。

b 出前講座・連携事業

当財団の指定管理受託施設や公民館および県内各自然の家等と連携し、地域に根ざした郷土の歴史等の文化的資源に関する当財団職員による各種講座のほか、海浜自然の家の施設や各種器具を活用した創作活動、ニュースポーツ等の体験活動を行います。

ウ 施設管理

安全安心な施設・設備の管理運営を図るため、予防保全の視点で適切な維持管理に努めます。

(7) いわき市生涯学習プラザ

ア 生涯学習に関する情報の積極的な収集・提供・発信

年間事業案内のほか、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを作成し、市内公共施設へ配布します。また、毎月「広報いわき」での案内、ホームページやInstagramなどのメディアで情報提供を行います。

さらに、市民講師、社会教育関係団体の情報データベースである「いわきまなびあいバンク」の情報収集及び維持管理を行います。

イ 生涯学習に関する調査研究・分析事業

各種講座の受講者アンケート（講座毎）により市民ニーズの調査と分析を行い、次年度以降の事業計画の参考とするとともに、学習プログラムの開発を行います。

ウ 生涯学習に関する人材育成事業

いわき市生涯学習支援ボランティアの会の会員増を図るとともに、市民講師や生涯学習に関わる人たちとの親睦と資質向上を兼ねた研修会を開催し、多彩な人材の確保と育成を図ります。

エ 生涯学習に関する総合的な相談窓口

市民からの団体活動に関する相談については、マッチングするサークルや講師紹介等をおして、より多くの市民が生涯学習に取り組めるよう情報提供を行います。

オ 生涯学習に関する講座、講演会等の開催

(ア) 生涯学習に関する全市的事業

「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」「福島大学連携講座」及び「生涯学習フェスティバル」は、内容の充実を図りながら、いわき市生涯学習支援ボランティアの会と連携し、開催します。

さらに、一般社団法人茶道裏千家淡交会いわき支部との「ふだん着のお茶会」、いわき市華道連合会との「諸流いけばな展」等、各種団体との連携事業を開催します。

(イ) 生涯学習に関する高度で専門的・先進的な事業

市民ニーズが高い「パソコン実用講座」を引き続き開催します。また、いわき市考古資料館、いわき市暮らしの伝承郷など当財団の指定管理受託施設と連携して「いわき学講座」を開催し、高度で専門的な学習の機会を提供します。

(ウ) 地域的課題に関する事業

「地域課題を知る講座」や「スマートライフ講座」等を開催し、人口減少・少子高齢化などの地域的課題を共有して課題解決に対する学習の機会を提供します。また、いわき市制施行60周年にあわせ、いわき市の成り立ちについて学ぶ機会も提供します。

(エ) 施設の機能等を活かした事業

プラザに設置されている茶室や陶芸窯・七宝焼き窯等を生かし「茶道講座」「陶芸講座」「七宝焼き講座」を継続して開催します。また、研修室設置のIT機器を活用して、「パソコン講座」「ITリーダー企画講座」を開催します。

(オ) 生涯学習に関する交流事業

生涯学習推進計画の施策の柱である学びの機会の提供として、子育て支援のための「親子陶芸講座」「親子ものづくり講座」「科学実験講座」等、親子で交流を深める講座の充実を更に図ります。また、子育てボランティアを活用した「プラザおはなし会」「子どもと遊ぼう！」は参加者に好評であり、継続して開催します。

### 3 管理部門（法人会計）

事務局は、公益法人の使命に基づき事業の方向性を明確に示し、効果的な事業推進を図ります。公益法人の役割を果たすため、理事会・評議員会を適切に開催するとともに、施設長会議や事務担当者会議等により、実務的な諸課題に対応しながら適切な組織運営を行います。

また、健康管理をはじめとした福利厚生の実施を図りながら、適正な人事配置や労務の管理、予算の執行管理などを行うことで円滑な組織経営を支えます。

組織を支える人材の確保・育成にあたっては、コンプライアンス意識を浸透させ、効果的な研修を促進・推進します。

さらに、施設・設備の経年劣化や甚大化する自然災害を見据え、来館者及び職員の安心・安全と収蔵資料等の維持・保全を図るため、いわき市並びに福島県の所管課との連携を強化します。

#### 【事業計画】

##### (1) 組織運営

- ア 理事会・評議員会の開催・運営
- イ 施設長会議、事務担当者会議等の諸会議の開催・運営
- ウ 法令等の改正に合わせた諸規則等の整備
- エ 計画的な予算編成・執行管理による最適な施設管理
- オ 収支相償の原則を遵守

##### (2) 労務管理と福利厚生

- ア 職員の採用、異動等の人事
- イ 就業規則等諸規則の整備及び適切な運用
- ウ 職場巡視等による安全・衛生管理や定期健康診断による健康管理の実施

##### (3) 人材育成

- ア 効果的・実践的な研修の実施
  - (ア) ふくしま自治研修センターへの派遣
  - (イ) 各施設における専門研修の推進
  - (ウ) 自主研修制度の推進
- イ 「研究紀要」の刊行

##### (4) 企画調整

- ア 各施設間の共通認識の形成
- イ 各施設間の連携創出
- ウ 啓発事業
  - (ア) 職員の専門性を活かした出前講座・体験の推進
  - (イ) 各施設の事業計画やイベント情報の連携

4 職員に関する事項

(令和8年1月31日現在)

(1) 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区 分	事務局長 同相当職	次 長 同相当職	係 長 同相当職	主任職	係 員	嘱託職員	補助職員	計
事務局	1	1	—	—	—	—	—	2
企画管理係	—	1	2	—	—	—	1	4
調査係	—	—	2 (1)	3	—	3	10	18 (1)
計	1	2	4 (1)	3	0	3	11	24 (1)

(2) 施 設

区 分	館 長 所 長	次 長 同相当職	係 長 同相当職	主任職	係 員	嘱託職員	補助職員	計
文学館	1	1	1	2	—	—	5	10
伝承郷	1	—	1	2	—	—	3	7
勿来関 文学歴史館	1	—	—	1	—	1	2	5
アンモナイト センター	1	—	—	1	—	—	4	6
考古資料館	(1)	—	1 (3)	(3)	—	—	3	4 (7)
いわき海浜 自然の家	1	1	3	2	—	4	7	18
生涯学習 プラザ	1	1	2	1	—	—	7	12
計	6 (1)	3	8 (3)	9 (3)	0	5	31	62 (7)

合 計	7 (1)	5	12 (4)	12 (3)	0	8	42	86 (7)
-----	----------	---	-----------	-----------	---	---	----	-----------



# 収 支 予 算 書

# 収 支 予 算 書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>基本財産運用益</b> (A)	25	13	12	
基本財産受取利息	25	13	12	
<b>事業収益</b> (B)	652,958	653,994	△1,036	
<b>文化財調査受託料</b>	125,608	137,155	△11,547	事業受託8件
<b>施設指定管理料</b>	514,700	502,737	11,963	施設8件
いわき市立草野心平記念文学館	77,415	77,170	245	
いわき市草野心平生家	3,259	3,259	0	
いわき市暮らしの伝承郷	53,761	53,761	0	
いわき市勿来関文学歴史館	41,945	41,137	808	
いわき市アンモナイトセンター	30,447	30,209	238	
いわき市考古資料館	22,411	22,162	249	
福島県いわき海浜自然の家	180,513	171,722	8,791	
いわき市生涯学習プラザ	104,949	103,317	1,632	
<b>施設事業受託料</b>	8,529	10,481	△1,952	事業受託4件
吹風殿開閉業務	411	387	24	勿来関文学歴史館
勿文歴収集資料調査検証業務	0	476	△476	〃
未来キッズ生き生き事業	3,608	3,591	17	いわき海浜自然の家
心のケアが必要な子ども対象事業	825	825	0	〃
いわきヒューマンカレッジ	3,685	3,894	△209	生涯学習プラザ
プラザ来館者利用駐車場調査業務	0	1,308	△1,308	〃
<b>施設利用料</b>	4,100	3,600	500	いわき海浜自然の家
<b>出版物頒布料</b>	21	21	0	
<b>雑収益</b> (C)	5,256	4,047	1,209	
受取利息	229	149	80	
雑収益	5,027	3,898	1,129	
<b>経常収益計</b> (D)	658,239	658,054	185	(A～C)
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>事業費</b> (E)	641,938	633,892	8,046	
給料手当	124,025	115,531	8,494	
賞与引当金繰入額	13,645	13,808	△163	
賃金	165,335	182,431	△17,096	
共済費	57,082	58,281	△1,199	
報償費	6,419	5,265	1,154	
旅費	3,651	3,247	404	
消耗品費	13,743	13,914	△171	
被服費	422	601	△179	

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
燃料費	9,233	9,021	212	
食糧費	541	517	24	
印刷製本費	19,984	14,689	5,295	
光熱水費	37,926	39,644	△1,718	
修繕費	3,987	4,130	△143	
通信運搬費	6,636	5,532	1,104	
広告料	379	357	22	
手数料	1,503	1,442	61	
保険料	1,390	1,498	△108	
委託料	96,935	90,479	6,456	
使用料及び賃借料	31,967	26,992	4,975	
工事請負費	550	2,145	△1,595	
原材料費	121	171	△50	
負担金	394	398	△4	
公租公課	33,976	30,828	3,148	
消耗什器備品費	165	0	165	
減価償却費	10,905	10,905	0	
支払利息	1,024	2,066	△1,042	
<b>管理費</b>	<b>56,285</b>	<b>50,924</b>	<b>5,361</b>	
報酬	399	399	0	
給料手当	22,621	21,780	841	
賞与引当金繰入額	2,138	2,311	△173	
賃金	6,864	4,880	1,984	
共済費	6,605	6,182	423	
報償費	422	212	210	
旅費	444	724	△280	
交際費	80	80	0	
消耗品費	474	474	0	
被服費	30	30	0	
燃料費	72	72	0	
食糧費	54	54	0	
印刷製本費	3,942	3,942	0	
光熱水費	200	200	0	
修繕費	100	100	0	
通信運搬費	383	375	8	
広告料	50	50	0	
手数料	467	467	0	
保険料	172	172	0	
委託料	3,453	2,353	1,100	
使用料及び賃借料	2,177	1,136	1,041	
負担金	942	1,044	△102	
補償費	38	38	0	

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
公租公課	3,908	3,599	309	
消耗什器備品費	250	250	0	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計 (G)	698,223	684,816	13,407	(E+F)
当期経常増減額 (H)	△39,984	△26,762	△13,222	(D-G)
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計 (I)	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計 (J)	0	0	0	
当期経常外増減額 (K)	0	0	0	(I-J)
当期一般正味財産増減額 (L)	△39,984	△26,762	△13,222	(H+K)
一般正味財産期首残高 (M)	180,934	207,696	△26,762	
一般正味財産期末残高 (N)	140,950	180,934	△39,984	(L+M)
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額 (O)	0	0	0	
指定正味財産期首残高 (P)	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高 (Q)	10,000	10,000	0	(O+P)
<b>III 正味財産期末残高</b>	150,950	190,934	△39,984	(N+Q)

## 資金調達及び設備投資の見込について

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

### 1 資金調達の見込について

借入の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		用途	

### 2 設備投資の見込について

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の用途	

